

授業科目名 (英文名)	理科指導法 (Teaching method of Science IV)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4年次・夏期集中講義
担当教員	天野 智博	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	○理科指導法 ~ の履修を基に、理科教員として教育現場に即した授業展開ができることをねらいとする。		
講義内容・授業計画	<p>○中学校免許取得に必須科目であるので、中学校の各単元の学習内容を生徒の実態に即して指導できる実践力を身に付けるために大きく3つの内容について、受講生との対話を重視しながら講義する。 各校種の学習内容の関連性について 生徒の実態に即した定期考査や補助プリントの作成、板書の方法、生徒への対応について 実験を取り入れた授業の展開と模擬授業について</p> <p>第1回：中学校と小学校の学習内容の関連性について 第2回：中学校と高等学校の学習内容の関連性について 第3回：受講生が自分の専門分野以外の単元を指導する時に抱える悩み等について 第4回：生徒からの質問等への対応や生徒指導等について 第5回：実験中の事故やトラブル等に関する対処や対応について 第6回：授業で使用するワークや補助プリント等の作成について 第7回：授業内容をどの程度理解しているか評価するための小テスト等の作成について 第8回：定期考査の作成とそのねらいについて 第9回：評価と指導について 第10回：生徒の実態に即した板書の方法や板書指導について 第11回：授業の導入における演示実験の活用について 第12回：生徒実験を取り入れた授業展開と実験プリントの作成について 第13回：第1, 2分野の模擬授業 第14回：実験結果のまとめ方、考察の方法、プレゼン等について 第15回：ICT等の活用について</p>		
テキスト	3年次の理科指導法 で使用中・高等学校の教科書および学習指導要領解説		
参考文献	文部科学省および各都道府県教育委員会が発表している報告書等		
成績評価の基準・方法	○各回の課題に対するレポート(40%)、模擬授業(30%)、対話を重視する授業を行うので、その時の回答内容(30%)		
履修上の注意・履修要件	<p>○中学校理科の免許を取得するものが履修している。欠席しないこと。 ○出題する課題に対するレポートを必ず提出する。 《新型コロナウイルス感染症に伴う特別措置に基づく遠隔授業》 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定であるが、履修者数によっては履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法等を行うことがある。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡する。</p>		
実践的教育	○35年の教員生活およびそのうちの5年間は兵庫県立大学附属中・高等学校で勤務した経験を基に、理科教員としての心構え、実践的な授業の進め方や生徒への対応のしかたについて、受講生との対話を重視しながらを講義する。		
備考	○集中講義前に1時間程度のオリエンテーションを7月の下旬に実施する予定である。 。新型コロナウイルス感染症の状況で変更することがある。 また、教員採用試験の日程と重なった受講生は別日程を考えている。		

詳しい日程は履修登録後に連絡する。